くすりのしおり

内服剤

2018年06月改訂

|  |  |
| --- | --- |
| 薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。 | |
| **商品名:チウラジール錠50mg**  **主成分:**プロピルチオウラシル(Propylthiouracil)  **剤形:**白色の錠剤、直径7.2mm、厚さ約3.5mm  **シート記載:**（表）THIURAGYL50mg、50mg、チウラジール  （裏）チウラジール錠50mg、チウラジール50mg |  |
| **この薬の作用と効果について**  甲状腺ホルモンの生合成を抑制し、甲状腺機能の亢進を抑えます。  通常、甲状腺機能亢進症の治療に用いられます。 | |
| **次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**  ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝機能障害がある。  ・妊娠または授乳中  ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。 | |
| **用法・用量（この薬の使い方）**  ・**あなたの用法・用量は((**:医療担当者記入**))**  ・成人：通常、成人は初め1日6錠（主成分として300mg）を3～4回に分けて服用します。重症のときは1日8～12錠（400～600mg）を服用し、機能亢進症状がほぼ消失したら1～4週間ごとに少しずつ減量し、維持量1日1～2錠（50～100mg）を1～2回に分けて服用します。  小児：通常、小児は初め5歳以上～10歳未満では1日2～4錠（主成分として100～200mg）を、10歳以上～15歳未満では1日4～6錠（200～300mg）を2～4回に分けて服用し、機能亢進症状がほぼ消失したら1～4週間ごとに少しずつ減量し、維持量1日1～2錠（50～100mg）を1～2回に分けて服用します。  妊婦：通常、妊婦は初め1日3～6錠（主成分として150～300mg）を3～4回に分けて服用し、機能亢進症状がほぼ消失したら1～4週間ごとに少しずつ減量し、維持量1日1～2錠（50～100mg）を1～2回に分けて服用します。正常妊娠時の甲状腺機能検査値を低下しないように、2週間ごとに検査が行われ、必要最低限量が決められます。  いずれも、年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。  ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで1回分を飛ばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。  ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。  ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。 | |
| **生活上の注意** | |
| **この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**  副作用として、発疹、じん麻疹、発熱などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。  **まれに下記のような症状があらわれ、[　]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。**  **このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。**  ・発熱、のどの痛み、全身けん怠感 [無顆粒球症、白血球減少]  ・鼻血、歯ぐきの出血、手足のあざ [再生不良性貧血、低プロトロンビン血症、第VII因子欠乏症、血小板減少、血小板減少性紫斑病]  ・全身けん怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、黄疸]  ・発熱、紅斑、筋肉痛・関節痛 [SLE様症状]  ・発熱、から咳、呼吸困難 [間質性肺炎]  **以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。** | |
| **保管方法 その他**  ・乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。  ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。 | |
| **医療担当者記入欄** 　　　　　　　　年　　　月　　　日 | |

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。